

千葉市からヒューストン市へ、市民訪問団を派遣しました！ ～市立稲毛高校生9人がジャパン・フェスティバル・ヒューストンで公演～

千葉市は、姉妹都市の米国・ヒューストン市へ市立稲毛高校生をはじめとした市民訪問団を派遣しましたので、お知らせします。

1 派遣の目的

「ジャパン・フェスティバル・ヒューストン」は、本市の姉妹都市ヒューストン市で開催される、テキサス州最大（米国南部最大規模）の日本関連イベント。このたび、同フェスティバルが開催30周年及び昨年度姉妹都市提携50周年を記念し実施されることから、ヒューストン日米協会から本市へ参加依頼があり、両市の更なる友好親善を深めることを目的に派遣を行ったもの。

2 派遣内容

- (1) 期間 令和5年5月4日（木）～5月9日（火）
- (2) 派遣者 計14人
(稲毛高校生9人、稲毛高校教員1人、市長公室長、国際交流課職員2人、食育ネット株式会社代表)

3 「ジャパン・フェスティバル・ヒューストン」への参加

- (1) 日時（現地時間）
令和5年5月6日（土）・7日（日）
- (2) 会場
ヒューストン市 ハーマンパーク
- (3) 主催
ヒューストン日米協会
(Japan-America Society of Houston、略称：JASH)
- (4) 参加内容



稲毛高校生「なでしこ」と関係者

- ア 稲毛高校生「なでしこ」による公演
沖縄の伝統舞踊であるエイサーに現代舞踊を取り入れ創作的にアレンジして披露。
- イ 千葉市産品等のPR
和菓子、お茶、米などを中心とした本市産品のプロモーションおよび本市をホームタウンとするプロスポーツチームを紹介した。また、本市の花「オオガハス」にちなんで折り紙で蓮の花を折るワークショップや「ちはなちゃん塗り絵」コーナーを実施。



本市産品等のPR



折り紙ワークショップ



「ちはなちゃん塗り絵」コーナー

4 ヒューストン市長および在ヒューストン日本国総領事への表敬訪問

5月5日（金）、ヒューストン市長及び在ヒューストン日本国総領事への表敬訪問を行った。シルベスター・ターナー市長とは、両市でこれまで築きあげた友好と未来に向けた更なる交流を確認した。また、村林総領事からは高校生への激励の言葉をいただいた。



ターナー・ヒューストン市長(中央右)と



村林総領事(中央右)と

<参考>

1 アメリカ合衆国・ヒューストン市の紹介

アメリカ合衆国テキサス州南東部に位置する全米第4位の人口（約230万人）の都市で、エネルギー産業、IT産業、医療サービス産業、航空宇宙産業等が盛ん。市内には、有人宇宙活動の拠点であるNASAジョンソン宇宙センターやMDアンダーソンがんセンターなど世界的に有名な機関がある。

2 ヒューストン市との姉妹都市提携のきっかけ

【姉妹都市提携：1972年（昭和47年）10月24日】

1972年（昭和47年）3月、日本貿易振興会の招きでヒューストン市長が来日した際、日本の都市との姉妹都市提携の話が持ち上がり、港・工業・農業など都市の性格が非常によく似ていることから千葉市が選ばれ、提携の運びとなった。

3 ジャパン・フェスティバル・ヒューストンについて

日本庭園があるハーマンパークで例年実施されているテキサス州最大（米国南部最大規模）の日本関連イベント。ハーマンパークでの開催を唯一許可されている外国名を冠したイベントでもある。本年は、新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催。各種団体が用意した日本文化紹介・体験アクティビティや、たこ焼き、ラーメン、和菓子といった日本食を楽しむことができる。ステージでは、日本の伝統的な音楽のパフォーマンスや、武道の演武など。そのほか、生け花、茶道、盆栽等の展示および実演などがある。

今回のフェスティバルは、本年、ジャパン・フェスティバル開催30周年を迎えたこと、また、昨年、日本庭園開園30周年および千葉市・ヒューストン市姉妹都市提携50周年をそれぞれ迎えたことを記念しての開催となった。（在ヒューストン日本国総領事館ホームページより一部引用 https://www.houston.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00480.html）